



プラスチック・サーキュラー・チャレンジ2025

Glicoグループ 環境取り組み

江崎グリコ株式会社

SCM本部 グループ調達部

CSR委員会環境部会

中島 修

2025.10.10

目 次

- 1． Glicoグループのプラスチック目標について
- 2． 2022年～25年の環境取り組み
- 3． 環境取り組みの課題
- 4． さらなる取り組みとチャレンジ

1. Glicoグループの環境目標について

1. Glicoグループの環境目標について

『Glicoグループ環境ビジョン2050』を策定しています



2. 2022年～25年の環境取り組み

2. 2022年～25年の環境取り組み（1）

食品メーカーとして日本初のストロー対策を実行

【ストロー】

Before



After



2022年度より
学校給食用牛乳の
ストローを廃止し、
年間25tを削減

約2,500万本/年
削減



約10トン/年
削減
(会社目標の約2%)



約25トン/年
削減



2019年度より全ての
ストローに**バイオマス**を5%
配合し年間10tを削減。

2. 2022年～25年の環境取り組み（2）

削減の主策としては、使用廃止・軽量化・薄化を徹底的に実行
次善策として、バイオマスの採用も取り組んだ

【トレイ】



2018年度よりトレイの
軽量化に取り組み、
年間約4 tを削減。

【シュリンクフィルム】



2021年度よりカップの
シュリンクフィルムを外し、
直接印刷に変更し、
年間約24 tを削減。

【アイススティック】



2019年度より
バイオマス10%配合
スティックに置換。

【外包装】

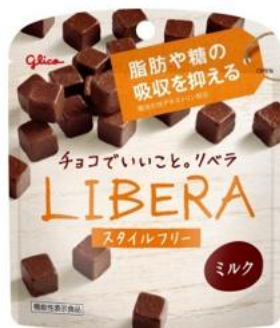


2022年度より外装の
薄化に取り組み、
年間約42 tを削減。

2. 2022年～25年の環境取り組み（3）

GLICOグループ全体として海外拠点も同様の取り組みを実施

【パウチ包材】



2024年度よりLIBERAの
パウチにバイオマス4%
配合し、年間1.5tを削減

【プラトレイ】



2024年度より冬POHUの
プラトレイを紙トレイに変更
年間4.8tを削減

【デザートカップ】



2023年度よりハッピープッ
チンプリンのカップを軽量化
し、年間1tを削減

【海外製品】



上海グリコ製造のポッ
キー、プリッツで巻取り
(幅)縮小に取り組み、
年間約12.3tを削減

2. 2022年～25年の環境取り組み（4）

GOALに対して2025年までの実績(進捗)は原単位で苦戦

【2025年度 実績】

- 実重量は対BM年度 28.6%の削減を達成
- 原単位は対BM年度 19.2%の削減で未達

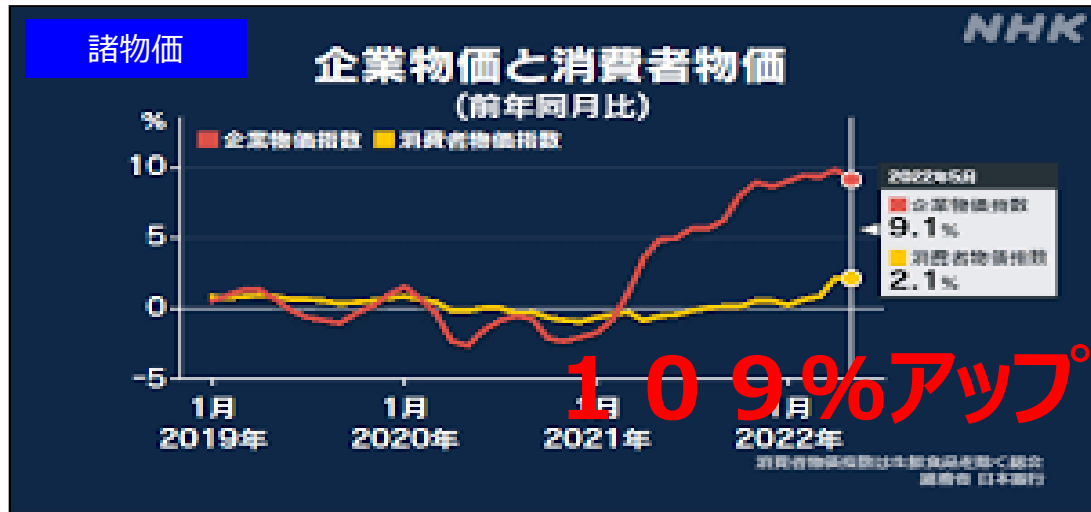
※原単位；売上億円当たりのプラスチック使用量（t）

※弊社の環境取り組みBM（ベンチマーク）年度は【2017年】で設定しています

3. 環境取り組みの課題

3. 環境取り組みの課題（コスト増について）

2022～25年は、広範な原材料の価格高騰によって製品収支が悪化
そのような市況下で、環境素材はコストが高いため採用見送りが多発



インジェクション成型品

プッチンプリン

ブロー成型品

papico

バイオ素材配合

↓

115%アップ

※%は対象プラスチック包材における材料費高騰分

軟包装

ビスコ

Pocky

リサイクルPET
採用

↓

120%アップ

ストロー

アーモンド
効果

100%バイオ

↓

600%アップ

3. 環境取り組みの課題（お客様のご理解について）

取り組みの目的

子どもたちの環境問題への関心と参画意識を高めながら、

社会問題の解決に自治体や子どもたちと一緒に取り組む

取り組みの内容

- ✓ 学校給食用牛乳のストローを廃止
- ✓ 開けやすく、ストロー無しでも飲みやすい容器に変更
- ✓ ストローレス化を通じて
子供たちが環境問題解決に参画する機会を作る

Before



After



2022年度よりストローレス容器を採用し、年間約25 t を削減。

2019年にカフェオーレ500mlのストロー廃止を実行した際は事前のコミュニケーション不足でお客様に目的が正確に伝わらず、かえって製品やメーカーへの不信感を喚起

昔は付属のストローが付いていましたががいつの間にか無くなっていました!!!甘くて一度では飲みきれないので、会社でマグカップに移して少しずつ頂いてます(。’ω’)!!!

女性 / 30代 / 長野県 / 購入回数: 1回

Amazonのギフトコードが欲しくて購入しました。ずっと飲んできた懐かしい味です。ただ、ストローがなくなったのが衝撃です。

女性 / 20代 / 島根県 / 購入回数: 1回

コーヒー感がハッキリと判る珍しいカフェオーレ。カロリーはやや高く50kcal/100ml。味的にはかなりうまいのだが、ストローが無くなったのは残念。これも消費税対策(コストダウン)なのだろうか？

男性 / 50代 / 東京都 / 購入回数: 1回



グリコのマイルドカフェオーレ
[500ml]ストロー穴復活…！(ただし、ストローは付きません)

カフェオレの失敗例からステークホルダーとのコミュニケーションを重視。まずは、社内の不安払拭と取り組み意義の理解を進め、工場メンバーを含めた全社取り組みとしての気運を醸成

Action1 : 社内コミュニケーション

Action2

Action3

部門で提案

- 調達部門より学乳ストローレス化を提案

✓ ユーザビリティ低下・売上減が懸念
(合意できず…)

カフェオレでは
お客様の理解
を得られなかつ
たし、…



提案内容を全社で再検討

- ユーザビリティ低下の**回避策**、**提案ストーリー**を全社で検討

✓ 開けやすく飲みやすい新包材
✓ 提案ストーリーの再構築



全社で取り組み意義の共感

- 新包材による**ユーザビリティ担保**
- 取り組みの**目的**、**意義**の全社理解

✓ 全社で合意
→ **ストローレス化取組開始**



最後に、取り組みの目的「環境問題に自治体や子どもたちと一緒に取り組む」を実現するために環境教育資料を作成、学校で先生から子どもたちへの環境教育を実施

Action1

Action2

Action3：お客様とのコミュニケーション

* 実際に作成した環境教育

SDGsってなんだろ？

■ SDGs？

2015年に国連サミットで決められた、世界の「持続可能な開発目標」のことだよ。英語のSustainable Development Goalsの略称で、2030年までに達成を目指す17の目標があるんだ。「持続可能な」というのは、「今だけではなく、未来のみんなも地球で今みたいに暮らせる」ということ。だからSDGsは「環境や資源を大切にしながら、今も未来もより良い状態にしていくための目標」ということだよ。

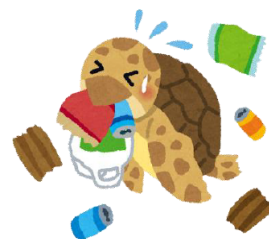
■ プラスチックのお話

プラスチックは何かからつくられているか知ってる？プラスチックの多くは石油からつくられていて、ごみとして捨てたプラスチックを燃やすと温室効果ガスが出て、地球温暖化の原因にもなっているんだ。それともプラスチックごみが海に流れ着くと、海を汚してしまい、海の生き物に悪い影響を及ぼしてしまうこともある。だからプラスチックはとても便利なんだけど、少しでも減らしたり環境にやさしいプラスチックを使うことが大事になってくるんだ。

事前に自治体に 環境教育のニーズをヒアリング



*SDGsロゴと17のアイコンは、2030年12月31日までの使用許可となっております（2022年2月22日現在）



全学年が理解できるように、 内容、振り仮名などに配慮

給食の牛乳からストローをなくしたよ！

■ 牛乳からストローをなくしたよ！



■ ストローをなくした理由

ストローはプラスチックからつくられているから、そのプラスチックごみを少しでも減らすことで、みんなに環境問題や自然を守ることを大切さについてもっと知ってもらって、一緒になって地球のためにできることをやってみたいと思ったんだ。みんなもストローのない牛乳を飲みながら自分たちでできることを考えてみてね！

* 資料内の商品画像の無断転用を禁じます *1 画像提供：日本製紙株式会社 *2 日本製紙株式会社 School POP® 説明資料より引用



＜開け方＞
※ 左側の図を見ながらやってみてね！
① 開ける前によく手を洗おう
② 「おす」と書いてある部分を「ポコッ」となるまで押し込む
③ 両側を持って「パカッ」と左右に開く
④ 開いたら、「ギョッ」と後ろに押す
⑤ 両端を持って、「クイッ」とつまみながら前に引き出す
※ 正しく開ければ、口をつける部分に触ることなく開けることができるよ！



4. さらなる取り組みとチャレンジ

4. さらなる取り組みとチャレンジ

引き続き『プラスチック・サーキュラー・チャレンジ2025』参加企業の皆様や省庁・自治体様、専門家様にご指南いただき、資源循環社会の実現に向けて、企業市民としての責務を果たすため着実にチャレンジし続けてゆきます



ご清聴ありがとうございました